

### 子どもの本だな 30

このページは子どもたちにすすめたい本をとりあげています。本を選ぶときの参考にしてください。

#### アンガスとあひる

マージョリー・フラック さく・え

瀬田 貞二 やく (福音館書店)

スコッチ・テリアの子犬アンガスは、見るものかぐものなんでも知りたがりです。なかでも一番知りたがったのは、庭の生け垣の向こうから聞こえる「ガー、ガー、ゲーク、ガー！」というやかましい音の正体でした。ある日、アンガスは家を飛び出し、垣根の下をくぐり抜け向こう側に出ると、二羽の白いあひるを見つけました。「ウーウーウーウーワン！」アンガスが吠えるとあひるたちは大騒ぎ。逃げるあひるたちをアンガスは追いかけて吠えました。「ガー、ガー、ガー！」あひるたちは話し合い、そして、「シーシーシーシーシュ!!!」今度はあひるたちがアンガスのしっぽをつつきながら追いかけてきました。アンガスは慌てて家へ駆け込みソファの下に潜り込みました。

黄色を基調に、緑、オレンジ、青の鮮やかな色が、アンガスやあひるたちを生き生きと描いています。アンガスの好奇心いっぱいの気持ちが伝わり、一緒に楽しく楽しめます。読んでもらえば三歳から。

(池之上)

#### 町かどのジム

エリノア・ファージョン 文 松岡 享子 訳

エドワード・アーディゾーニ 絵 (童話館出版)

年取ったジムは、町角のミカン箱に座り、八歳のデリーに船乗りだったころの話をしてやります。

インド洋で、激しい雷雨の後、大空に目もくらむような色鮮やかな大海へびが現れました。海へびは甲板にいるジムの膝に頭をのせ、大粒の涙を流しました。海へびは、自分が大きすぎるため、誰も愛してくれず、赤ん坊のようになでてくれないというのです。ジムは気の毒になり、こぶのあるこわい毛の生えた頭をなでてやりました。ところが、海へびは体中をなでてもらうと、何マイルもある体をどンドンたぐり寄せてきました。「(大海へび)」

南極で遭難したジムをペンギンが助けるはなしや、網いっぱい捕まえたエビが緑の子猫になっていたはなしなど八編が収められています。ユーモラスなおはなしがジムの語りで一層面白みを増し、デリーとともに引き込まれます。また、ジムとデリーの友情に心温まります。読んでもらえば五歳から楽しめます。

(竹内)

#### 4・5月の移動図書館(いずれも木曜日です)

4月	5月					
7日	12日	塚森 地域内 10:30~10:50	沖代 地域内 11:00~11:20	福地(三反長) 地域内 14:30~14:50	米田 公会堂 15:00~15:20	竹広南 公民館 15:30~15:50
14日	19日	岩見構下 公民館 10:30~10:50	岩見構上 公会堂 11:00~11:20	原池団地 公民館 15:00~15:20	山田 掲示板前 15:30~15:50	原 太田東地区農村 交流センター 16:00~16:30
21日	26日	広坂 公民館 10:30~10:50	上太田 公民館 11:00~11:20		吉福 公民館 15:30~15:50	太子 ニュータウン 公民館 16:00~16:30

#### お知らせ

#### 青空リサイクル

図書館で不用になった本を無料で提供します。持ち帰り用の袋をご持参ください。

4月24日(日)

10時30分~15時

場所：図書館南側テラス

リサイクル用の本は、随時補充します。

雨天の場合は4月29日に延期

# 『動物翻訳家』

心声をキャッチする、飼育員のリアルストーリー

片野 ゆか 著

集英社

319 頁

2015 年 10 月刊

1,500 円

(請求記号) 480.7

二〇一〇年、埼玉県こども動物自然公園では、新しくペンギン舎をオープンする計画を立ち上げた。ペンギンといえば南極の生き物と思われる傾向があるが、園が選んだのは、南米ペルーからチリにかけての沿岸に生息するフンボルトペンギン。広大な敷地に、緑豊かなチロエ島のペンギンコロニーを模した丘とガラス張りのプールを配置、世界でもめずらしい「ウォークスルー」を取り入れ、ペンギンたちが自然に過ごす場所を、見学者が歩きながら観察できるスタイルだ。名称は「ペンギンヒルズ」に決まり、23羽のペンギンが到着した。閉園が決まった水族館からやってきた完全室内育ちの「箱入り」ペンギンたちだった。

オープン当初は、太陽の光や風、葉擦れの音など何もかもに怯え、安全なプールから出てこなかったペンギンたちだが、徐々にプールサイドで日光浴をするようになり、見学者を「ランチタイム」(エサやり体験)で楽しませ、ついには丘の上の巣で産卵、4羽のヒナが誕生し、その成長ぶりも多くの人々を喜ばせている。来園者が劇的に増加したのもペンギンヒルズに依るところが大さく、日橋園長の企画力と情熱をベースに、担当の小山飼育員が日々ペンギンたちの気持ちに寄り添い、彼らの目線に立った様々な工夫を積み重ねた結果だろう。

「環境エンリッチメント」とは、動物本来の行動欲求を満たす工夫をして、生活の質を向上させる取り組み。一九九〇年頃から低迷していた動物園人気を、ここ二十年程で再び盛り上げてきた考え方である。常に動物たちがいい気持ちで過ごせるよう、ベストな方法を追求していくことで、魅力的な動物園を作っていく、それが飼育員「動物翻訳家」たちの仕事なのだ。著者は締めくくると、

前述のペンギンに続き、チンパンジー、アフリカハゲコウ、キリンと、「環境エンリッチメント大賞」を受賞した動物園を取材、主人公の動物たちと飼育員の細やかな愛情と信頼が感じられるノンフィクションである。

(池田)

## 4月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	<del>4</del>	<del>5</del>	6	7	8	9
10	11	<del>12</del>	13	14	15	16
17	<del>18</del>	<del>19</del>	20	21	22	23
24	25	<del>26</del>	27	28	29	30

## 5月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
1	<del>2</del>	<del>3</del>	<del>4</del>	5	6	7
8	9	<del>10</del>	11	12	13	14
15	<del>16</del>	<del>17</del>	18	19	20	21
22	23	<del>24</del>	25	26	27	28
29	30	<del>31</del>				

<日曜日の絵本の時間>

4月17日

時間：11時から

場所：おはなしの部屋

対象：2～3歳

保護者の方も入れます

カレンダーの×印は休館日です。

開館は10時～18時。

金曜日は20時まで

開館しています。

## 地下水

今年の冬は長かった。年末からひいた風邪が治りかけてはぶり返し、もう大丈夫となったのは2月半ば。その後も外出を控え職場と家の往復に徹していると、いつの間にか田んぼの縁のユキヤナギやラッパズイセンは風にそよぎ、畑はムギの緑におおわれ、休耕地にはホトケノザのピンク色が散りばめられていた。食卓にもつくし、菜の花、いかなごが並ぶようになった。

3月、図書館ではやさしい科学講座2「宇宙のふしぎ・星のひみつ」を開催。講師の秋澤さんが、小学生から一般の方まで幅広い年齢の参加者に、写真や図表を使いながら、宇宙の成り立ちから生命の誕生までわかりやすく話してくださいました。宇宙の大爆発によって放出された元素が集まって地球が生まれ、酸素と水素が結合して水ができ、生命の誕生につながるという138億年の壮大なスケールのお話が面白かったです。宇宙の歴史を1年に置きかえると、1月1日に宇宙が生まれ、8月に地球が誕生し、人類の誕生は12月31日深夜に当たるといいます。気が遠くなるような時間の流れの中のほんの一瞬地球に暮らし、年齢の数だけしか経験できない季節の移ろいと思うと、目に映る空の色や畑の緑、花々の白や黄色が一層鮮やかに感じられる。

(片木)

